

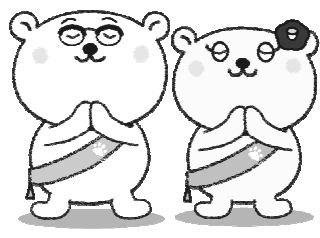
本住寺便り

～平成二十九年立春大吉号～

平成二十九年二月四日発行

身つよき人も、
心かひなければ多くの能も無用なり。

(高祖日蓮聖人・乙御前御消息)



大相撲三月場所の大阪では、待望の日本人出身力士の横綱・稀勢の里の活躍が期待されます。ご存知、白鵬の連勝記録を止め、数々の名勝負を残し休場も一日だけという努力の人ですが、四横綱の時代となり、優勝するのは一苦勞です。

「どんなに強いつもりでも、上には上がいるものです。負け知らずの天才でも、いつかは衰えるし、時が経てば自分を超越する天才も誕生します。そうではなくて、相手と融和する、心を解放する。すると、敵がいなくなります。闘わずして勝負究極の道に至るのです」

とは、武道「新体道」の創始者・青木宏之氏の弁ですが、本当に強い人には敵がないというのです。稀勢の里も横綱の相撲を極めていくなかで自身の心を深く見つめ、とらわれない心の境地に達することができるでしょうか。

さて冒頭の日蓮聖人のお言葉は、たとえ身体が丈夫で多くの才能や能力があったとしても、世のため人のためという心がなく、利己的な願望の手段とするのであれば、それは人間や社会にとって無用のものという警告です。

持てる能力が人々の苦しみを救い、幸せへの大きな力となるように、才能や理性を「心のかい」ある方向に持っていくこと。日蓮聖人はその道をお釈迦さまの説かれた法華経への信仰の中に見つめていかれました。

私たちも、人の迷惑や痛みを考えずに自分さえ良ければいいというのではなく、皆が幸福になれるよう“思いやりの心”を持って、法華経の精神（仏種）を強く大きく育てましょう。今からでも遅くはありません。身体は年とともに衰えてしまいますが、心の方は誰でも年とともに強くなれるのですから。

平成二十九年 年回忌表

一周忌	平成二八年
三回忌	平成二七年
七回忌	平成二三年
一三回忌	平成一七年
一七回忌	平成一三年
二三回忌	平成七年
二七回忌	平成三年
三三回忌	昭和六〇年
三七回忌	昭和五六年
四三回忌	昭和五〇年
四七回忌	昭和四六年
五〇回忌	昭和四三年

妙見山 本住寺

倉敷市真備町服部一五八七

〇八六(六九八)九七七〇

ホームページ <http://www.honjuzi.com/>

*仏事に関すること等でお悩みやお困りごと等がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

*法事のご予約はお早目にお願いたします。
お寺の都合によりご希望される日時でもお受けできない場合がございますので、ご了承ください。

妙見山本住寺 平成二十九年 年間行事予定表



一月	五日 ～七日	新年初祈禱	随時祈禱を受け付けました (住職祈禱済みの開運善哉のお接待)
二月	三日	節分豆まき	最上稲荷の福豆は： ご先祖さまの供養をいたします
三月	二十日	春のお彼岸(午後2時～)	(卒塔婆供養は別途受付)
四月	三日 十一日	開山大覚大僧正御命日 春の妙見さま(旧三月十五日)	本年は第六五四回忌です 遠田講中の皆さまと妙見堂でお経
五月	十四日	境内清掃(4班) 有井・呉妹・二万	お花と甘茶を誕生仏に捧げます (甘茶とかき餅のお接待) 法要の後、昼食をとりながら 『総代世話人会』を執り行います、 よろしくお願いたします
七月	九日	境内清掃(5班 遠田)	よろしくお願いたします
八月	十日 ～十五日	お盆のお経回り	皆さまのお家へお経に参ります
九月	十日 二十三日	境内清掃(1班 関屋) 秋のお彼岸(午後2時～)	よろしくお願いたします ご先祖さまの供養をいたします (卒塔婆供養は別途受付)
十月	三日	秋の妙見さま(旧八月十四日)	遠田講中の皆さまと妙見堂でお経
十一月	十二日	境内清掃(2班 谷本・金谷)	よろしくお願いたします
十二月	十日 十六日	御会式(旧暦十月十二日夕) ※総代世話人(回向袋) お焚き上げ 観音経写経 納経会	日蓮聖人のご命日にあたり、本堂にて法要を行います(芋煮接待) 古いお塔婆などを抜魂し、お焚き上げいたします 書きためたお写経をお清めして御宝前へ納めます

◆◆◆ 本住寺 信行会 ◆◆◆

本住寺では、月に一度、お題目を中心にお経や作法を楽しく実践する『信行唱題会』と、本堂で心静かに観音経のお写経をする『観音経写経会』を開催しております。初心者歓迎！どなた様でも簡単にご参加いただけますので、興味がある方は是非お気軽にお越しください。

信行唱題会 毎月第2火曜日 午後2時より
観音経写経会 毎月第3土曜日 午前9時～午後7時